

# 令和7年度全国学力・学習状況調査 本校の結果

令和7年4月に全国の中学3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の本校の結果、及び今回の調査における課題と改善の方向についてお知らせいたします。なお、個別の結果についてはすでに返却しております。

今回の「全国学力・学習状況調査」では、国語、数学を記述式にて、理科をCBT方式にて実施しました。また、合わせて学習状況の調査も行いました。学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する70の質問項目があり、ほとんどの項目は、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」（肯定的な回答）、「当てはまらない」「どちらかと言えば当てはまらない」（否定的な回答）の中から選択して答えるものです。

なお、この調査結果は、学校における教育活動の一側面であり、教育活動全体の評価ではないことにご留意願います。

## 1 学力調査の結果・課題と改善の方向

国語		本校の結果概要	調査における課題	改善の方向
項目	平均正答率			
■言葉の特徴や使い方	全国平均を下回っている。	事象や行為を表す語彙について理解すること。（言葉の特徴や使い方）  読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えること。（書くこと）  読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。（書くこと）	語句や表現について、文中での意味や働きを考える学習を継続的に行い、言葉の理解を深める。  目的や条件を明確にした上で書く活動を設定し、読み手を意識した記述力を育成する。  要約、言い換え、推敲等の活動を通し、文章を整える力を段階的に高める。  グループワーク等を通し、自分の考えを見直したり、他者の表現から学んだりする機会を充実させる。	
■情報の扱い方	今年度は、出題なし。			
■我が国の言語文化	今年度は、出題なし。			
■話すこと・聞くこと	全国平均とほぼ同程度だが、やや上回っている。			
■書くこと	全国平均とほぼ同程度だが、やや下回っている。			
■読むこと	全国平均とほぼ同程度だが、やや上回っている。			

数学		本校の結果概要	調査における課題	改善の方向
領域	平均正答率			
■数と式	全国平均とほぼ同程度だが、やや下回っている。	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること。（数と式）  事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができかどうかをみる。（関数）  相対度数の意味を理解している。（データの活用）	式の意味を吟味し、言語化する習慣をつける。  表・式・グラフを往還して事象を考察するような場面を意図的に設定する。  実際に実験をする場面等を設定し、体感を伴った意味理解ができる授業をデザインする。	
■図形	全国平均を上回っている。			
■関数	全国平均とほぼ同程度だが、やや下回っている。			
■データの活用	全国平均を下回っている。			

国語も数学も、全国平均を下回る項目・領域がいくつか見られましたが、上回った部分もありました。トータルとして見たときには、全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っているという結果となりました。

領域	平均正答率
■エネルギー	全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
■粒子	全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
■生命	全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
■地球	全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いている。(粒子)

科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できる。(粒子)

周期表の活用や「覚える」だけではなく、実際に「書く」ことで技能を身につけさせたい。

「探究過程」に着目する問いかけや「生活との関連」を引き出す問いかけをより意識する。

理科については、すべての領域で全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っているという結果になりましたが、どの領域もほぼ全国平均と同程度で、トータルとしてみても全国平均とほぼ同値でした。

## 2 質問紙調査から

### ■全国平均より数値が上回っている主な質問項目

番号	項目
29	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか
42	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
51	国語の授業の内容はよく分かりますか
58	数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか
60	理科の勉強は得意ですか

### ■全国平均より数値が下回っている主な質問項目

番号	項目
1	朝食を毎日食べていますか
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
7	将来の夢や目標を持っていますか
22	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）
28	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

・質問番号29の結果より、「自身のICT活用能力に対して、学校での使用頻度が少ない」と感じている生徒が多いことがわかりました。皆が安全にICT機器を扱えるルールを設定し、使用頻度を上げていくことを心掛けたいです。また同時に、情報リテラシー教育にも力を入れていきたいです。

・前述の理科の学力検査の結果と、質問番号60の結果に差異が見られました。生徒自身の「得意だ」という自己評価と、実際の結果に乖離があることが読み取れます。各教科の授業の中でリフレクションの場面を充実させ、生徒のメタ認知能力を向上させられるよう努めてまいります。

・質問番号1と2が全国平均を下回っています。生活リズムの定着が、学習に対する集中力の向上にも繋がりますので、引き続きご家庭でのご指導をよろしくお願い致します。